



横浜市立釜利谷東小学校 12月号

学校便り

TEL 045-783-9398 FAX 045-701-9817 令和3年11月30日

ひがしの願い

ひとつの命

がんばる心

しんじあう仲間

人権週間にあたって

校長 皆川 誠

2021年も、残り1か月となりました。このところ、新型コロナへの新規感染者数が落ち着きを見せています。そのおかげで、本校でも、宿泊行事や校外学習などが始まってきました。

まず、11月18日(木)には、3年生が横浜市防災センターへ社会科見学に出かけました。1年生の金沢動物園以来の校外学習だったこともあり、わくわく感を隠し切れなかったところもありましたが、見学を通して防災への意識に高まりが見られました。

次に、11月23、24日には、6年生が日光修学旅行へ出かけました。天候に恵まれ、男体山をはじめ日光の山々がはっきりと見えました。その分気温は低く、2日目の朝は雪が舞い、周囲の山頂はうっすらと雪景色をしていました。

この2日間、6年生は5分前行動を心掛け、ゆとりのある活動ができました。特に、2日目の朝、出発式担当の4名の児童は、あわただしい中、荷物整理を素早く行い、5分以上も前からリハーサルを行っていました。自分の役割に対する責任感と行動力に驚かされました。また、同行した写真屋さんからは、「よく挨拶してくれて、気持ちのよい6年生ですね。」とお褒めの言葉をいただきました。「横浜一挨拶の上手な学校」を目指している本校にとって、最高に嬉しい一言でした。

11月29、30日には、5年生が愛川へ出かけました。12月には、5年生の柴漁港見学、4年生の資源循環局見学も予定されています。6年生に負けない姿を期待しています。

さて、12月4日から12月10日は、「人権週間」です。私たちの周りには、新型コロナウイルスの感染者等に対する偏見や差別、インターネット上における誹謗中傷など、様々な人権問題が存在しています。この「人権週間」に合わせて、本校でも、「偏見・差別をせず、相手の立場や気持ちを思いやる心を育てる」ことを目的として、いくつかの取組をします。人権教育推進担当者による講話、図書室に人権に関する本を集めたコーナーの設置、そして、道徳の時間には、上記の目的に合わせて題材や内容を選び、学習を進めてまいります。

ところで、金子みすゞさんの「わたしと小鳥と鈴と」という詩をご存じでしょうか。3年生の国語の教科書にも載っています。私の好きな詩の一つで、「みんなちがって、みんないい。」というフレーズが、特に気に入っています。「小鳥」にも、「鈴」にも、そして「わたし」にも、それぞれによいところがあります。自分の周りを見ても、人それぞれに違いがあり、よさがあります。

学校や学年・学級など、集団の中で生活しているのは、一人ひとり個性をもった子ども(わたし)です。その違った一人ひとりが集まることにより、一人では気づきにくい豊かな発想や新たな学びが生まれてくるのだと思います。ですから、それぞれの違いを理解し合い、互いに大切な存在であると認め合える教育を、これからも目指していきたいと考えています。本校で最も大切にしている「あいさつ」は、まさに相手を大切にする意識の表れです。そして、「みんなちがって、みんないい。」、この言葉を心に刻み、本校に通うすべての子どもが安心して楽しく生活できる、いじめのない学校にしていきたいと思います。

新型コロナ第6波を心配する声もありますが、心にゆとりをもち、明るい笑顔で、2021年を締めくくりたいと思っております。今年一年間、本校の教育活動にたくさんのご支援とご協力をいただき、ありがとうございました。少し早いですが、よいお年をお迎えください。